

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者)田川地区町会連合会

1 交付決定額 

I	金 550,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 田川地区まちづくり協議会運営事業				
実施主体	田川地区まちづくり協議会・田川地区町会連合会			
実施日(期間)	令和5年4月1日～令和6年3月31日			
実施場所	田川地区地域づくりセンター			
事業概要	まちづくり協議会における総会、理事会等の会議資料作成や各種事業・学習活動に必要な消耗品・備品の購入など			
地域づくりの成果・効果	地区の主要な関係団体を組織化した協議体を運営していくことにより、地域課題等の解決に向け、地区住民・団体が相互に連携しながら主体的に取り組んでいくことができました。			
課題	継続して事業を進めていくため、事業推進部会の成果や反省事項を踏まえ、さらなる体制強化を図っていく必要があります。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	153,975円	89,593円	0円	64,382円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 田川地区まちづくり事業				
実施主体	田川地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和5年4月1日～令和6年3月31日			
実施場所	田川地区地域づくりセンター			
事業概要	田川地区の歴史や文化、人々の暮らしを学び、次世代の子供たちへ伝承していくため、令和3年3月に歴史文化部会で作成した『田川の教科書』の内容を一部見直し、増刷しました。 〔B5版 カラー20ページ 200部作成〕			
地域づくりの成果・効果	田川小学校の3学年の児童に配布し、地域学習の教材として学校の授業で活用してもらうことにより、田川地区の歴史や文化に理解を深め、地域に愛着と誇りをもった子供たちを育むことができます。			
課題	時代や環境の変化に対応していくため、常に内容をアップ・ツー・デートしていく必要があります。			

決 算 額	財 源 内 訳			
	a+b+c	a	b	c
	141,900円	141,900円	0円	0円

③ 事業名： 田川地区楽育事業				
実 施 主 体	田川地区まちづくり協議会・田川地区町会連合会			
実施日(期間)	令和5年7月29日			
実 施 場 所	田川公民館			
事 業 概 要	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されていた地区の一大イベント、「ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み」を4年ぶりに開催しました。 〔参加者数 子供 137名 大人 179名 計 316名〕</p>			
地域づくりの成果・効果	<p>少子化により各町会で実施が困難となっている「ぼんぼん」「青山様」を田川地区合同で行い、あわせて夏祭りを開催することにより、伝統文化の継承と世代を越えた交流が図られ、地域の絆を一層深めることができました。</p>			
課 題	<p>イベントに携わる団体・個人を増やしていくことにより内容を充実させ、地区の一体感を生む大型イベントとして定着させていく必要があります。</p>			
決 算 額	財 源 内 訳			
	a+b+c	a	b	c
	300,000円	230,000円	0円	70,000円

④ 事業名： 田川地区サロン事業・健康と福祉のまちづくり事業				
実 施 主 体	田川地区まちづくり協議会・田川地区町会連合会			
実施日(期間)	令和5年4月1日～令和6年3月31日			
実 施 場 所	田川公民館			
事 業 概 要	<p>高齢者の孤立を防止するための居場所として、また健康づくり、食生活改善、防犯の学習、文化芸術の鑑賞の場として、地区内の関係団体・機関が連携して「田川地区いきいきサロン」を定期的で開催しました。 〔開催回数 11回 参加者数 延べ 445名〕 また11月と12月を田川地区健康福祉月間と位置づけ、丸の内病院や協立病院、市保健師が協力し、「明日の幸せ築くまち」と題した介護予防講座を開催しました。 〔開催回数 3回 参加者数 延べ 88名〕</p>			
地域づくりの成果・効果	<p>高齢者の仲間づくりの促進と、高齢者を取り巻く諸課題を学び、解決していく場として定着しており、地域での見守り・支え合いの環境が整備できました。</p>			
課 題	<p>さらに新たな参加者を増やしていくため、高齢者への日常的な声掛けや企画内容の刷新・充実を図っていく必要があります。</p>			
決 算 額	財 源 内 訳			
	a+b+c	a	b	c
	168,507円	88,507円	0円	80,000円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	764,382円	550,000円	0円	214,382円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0円
-------	---	----

[参考]繰越上限額=I×2/10

3 添付書類

別添